

多治見市 北小木地区

令和2年度

【地域の概要】

- 多治見市の西北西に位置し、犬山市に隣接する。
- JR東海太多線姫駅から南南西方向へ約3kmの場所にあり、小さな山間盆地である。
- 地区内の農地（約8ha）は、9割が水田として利用されている。

取組開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化及び耕作者減少により遊休農地が増え、地区の持続的な農業の維持が危ぶまれている。
- 任意営農組織の法人化に向けた協議が令和元年度に始まり、農地の状況把握、集積計画を行った。

取組内容

- 令和元年7月に法人化に向けた第1回検討会を関係者、県、農業委員会事務局、JA等が集まり開催した。
- 令和元年9月以降、月1回の検討会を実施。農業経営改善スペシャリストとの相談を含め法人化への準備を行った。また、令和2年2月の検討会では、近隣の営農組合活動事例を紹介し協議を行った。
- 令和2年7月9日に人・農地プランを実質化し、農地中間管理機構を通じた農地の借り受けのため、地権者への説明会を実施。その結果、約6haの借り受けをすることになった。
- 10月14日に設立総会を開催した。

今後の展開と方向性

- 経営基盤を強化するため、補助事業等を活用していく。
- 高齢化が進む中、効率的な営農体制を検討していく。



設立総会